

穂高PTAだより

発行日 令和3年3月1日

穂別高校PTA研修委員会



C
O
N
T
E
N
T
S

・ご卒業おめでとうございます	PTA会長 吉田直司	2ページ
・多面的な理解が優しさ	校長 小野達彦	2ページ
・卒業担任より～実践躬行 口で言うだけではなく実行してみ～	3学年主任 早瀬憲寿	3ページ
・進路活動を振り返って	進路指導部長 大友光裕	3ページ
・ひとりひとりを大事にする学校を目指して	生徒会長 小塚空	4ページ
・集団としての成長と個々の努力に感謝	1学年主任 飛驒勇佑	4ページ
・未来を見据える三年生へ	2学年主任 武田幸大	4ページ
・令和2年度 PTA事業報告		4ページ
・PTA研修委員		4ページ

「卒業 おめでとーございます」

PTA会長 吉田 直司



卒業される皆様、ご家族の皆様、誠に卒業おめでとうございます。校長先生ならびに教員の先生方、学校関係者の方に於かれましては、生徒たちをここまで温かく根気よく導いてくださったことを、あらためて心より感謝申し上げます。

そして、現在も新型コロナウイルス感染症の影響を受けられている皆様に心からお見舞い申し上げます。また、日夜前線で感染症の治療や看護に力を尽くされている医療関係者の皆様に心より感謝と敬意を表します。

卒業される皆様の高校生活三年間はどうか？新型コロナウイルス感染症の影響で、我慢しなければいけないことが多かったと思います。行事や部活の大会などが中止や縮小になり、やりたくても出来ないことが非常に多く、悲しかったことでしょう。覚えておいてください。皆様は、一年生の時に北海道胆振東部地震を経験し、不安や悲しみを乗り越え、二年生の終わりからコロナ禍での北海道緊急事態宣言を経験し、マスクなどが手に入らない社会経済の変化を乗り越え、三年生でコロナ感染症防止対策を経験し、我慢や辛いことを乗り越え、この悲しくて思い通りに行かなかった経験が、いつか必ず人生で一番深い、素晴らしい思い出となります。先生や仲間と過ごした

すべての出来事が、涙で終わることも多かったと思います。でも困難と一緒に経験し乗り越えてきた家族、先生、仲間との三年間が、のちに一番深い思い出になります。その日を目指して前へ進みましょう。最後に一言、「皆さんの成長が私たち保護者と先生方の希望と喜びです」。卒業生の皆様に、心から祝福を贈りご挨拶とさせていただきます。ご卒業、誠にありがとうございます。

「多面的な理解が優しさ」

校長 小野 達彦



昨今取り上げられる「コミュニケーション能力」には、知ること、知ろうとすること、含まれます。そして、一人の生徒について正しく知るには、さまざまな角度からの視点が必要で、例えば学校では、体育の跳び箱やマツト運動で生き生きと汗を流しているところ、家庭科の調理や服飾の実習でテキパキと動いているところ、音楽のリコーダーを仲間と一緒に練習するところ、歴史上の人物について他学年の生徒を前に堂々と発表するところ、数学の授業で下級生に寄り添って教えるところ、放課後の部活動に仲間たちと和気あいあい取り組むところ、外が暗くなるまで教室で黙々と自習を続けるところなど、たくさんあります。きつとご家庭でのようすを見ればまた別の発見があるでしょう。ですから、我々は主観的で一方的な見方よりは、俯瞰的で多

面的な見方を優先させるべきです。なぜなら自分とは違う捉え方をしている人がいて、自分の見ていなかったその子の輝く姿というのが必ずあるからです。穂高高校の職員室には、そういう教員同士の意見交換（共有）の時間があります。「できるだけ生徒の近くにおいて彼らを見て。」校長はいつもそう呼びかけます。

また、一つのニュースについてテレビやネットの報道だけで判断するよりは、別の視点から迫ってみましょう。例えば、海外のスポーツ選手の記事で、インタビューや発言の内容が何らかの理由により一部分がカットされたり脚色されたりすることがあります。そこでスマホを使い yahoo.com で米国の報道をいくつかチェックしてみる。実際の発言内容を見てみるといろんなことが分かります。どういう意図で発言したのか、背景やその人の置かれた状況なども知ることができます。英語表記ですが、無料の翻訳ソフトを使えばスグに読めます。こういう行動こそが学びです。もちろん英語以外にも、ミャンマーのクーデターを知るには社会科、新型コロナのワクチン接種については保健体育・家庭科・理科、感染者数の推移や割合には数学、スマホ各社の料金を比較するには現代文、KPOP世界制覇の謎を解明するには音楽、さらにそれらを迅速に知るために情報の授業で学んだことが活かれますね。

卒業生の皆さん、誰かを、何かを深く正しく知ろうとすれば多面的な理解が不可欠です。ぜひ今後あなた達の学びをそのことにつなげてください。そしてこれまでのように、視野の広い、思いやりと優しい気持ちのあふれる人でいてください。

卒業担任より

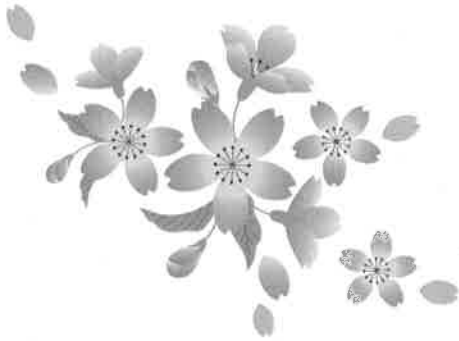
実践躬行

口で言うだけではなく実行してみて

三学年主任 早瀬 憲寿

四月に「自立と自律」「自己実現」「社会人基礎力の定着」を目標にスタートし、高校生活最後の一年を終えようとしています。穂別高校で過ごした三年間で、三年A組のみなさんはどのように成長し、どのような大人になれたでしょうか。春からは、全員が自分自身で決めた道を、自分の責任で歩んでいきます。今までの人生で学び身につけてきたことを、実社会で役立てる時です。

今日まで、みなさんの担任として、ともに歩んでこられたことをとても嬉しく思っています。担任として、みなさんの高校生活、そしてこれからの人生に少しでも役に立てていれば幸いです。また、担任である私も、みなさんから多くのことを学ぶことができました。ありがとうございます。これから、みなさんが幸せな人生を歩みながら、たくさんの人に感謝され、多くの人を幸せにしてくれることを願っています。



進路活動を振り返って

進路指導部長 大友 光裕

今年度の進路に関わる活動として、職業講話、進路相談会、オープンキャンパス見学会、インターンシップ、租税教室、出前授業などがありました。

今年度はコロナウイルスの関係で各活動に様々な影響がありました。各大学や専門学校とのオープンキャンパスが次々と中止になったり、五月に行う予定だった進路相談会が七月にずれこんだりしました。ですが、多少の予定変更はあっても概ね実施することができたのは良かったと思います。現時点でのコロナの進路への直接的な影響は見られないようですが、今後の社会の変化に対して慎重に対処していきたいと思っています。

今年の三学年の進路状況は左記の通りです。在校生も進路希望をかなえられるよう、今以上にたくさんの方皆様方からのご協力をお願いします。

3年生の進路決定状況

	決定者数
国公立大学	1
私立大学	3
専門学校	9
公務員	2
民間就職	4
未定	1
合計	20

(令和3年2月28日現在)

新生徒会の抱負

ひとひよりを大事にする学校を目指して

生徒会長 小塚 空

今年度の生徒会執行部は、十月から生徒会長の小塚、副会長の齋藤、書記長の太田、書記の長岡、会計の池田、文化・体育常任委員長の真壁の計六名で活動しています。

主な活動内容は、行事の企画・運営、他校との交流、校内ボランティアの企画・運営など、他の委員会や外局、部活動と協力して行っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で昨年度通りの行事が行えませんでした。コロナ禍でもできるだけ行事を楽しんでもらえるように、全三回の生徒会企画を実現できました。

また、三回目の屋内競技大会では新執行部のみで行事を企画しましたが、全校一丸となってスムーズに運営できました。

今期の生徒会は、「初心に戻って挨拶から」を目標に、学校内でのコミュニケーションをマメにし、学校全体で相手を尊重する空気をつくっていききたいと思います。



学年主任の先生から

集団としての成長と
個々の努力に感謝

一学年主任 飛驒 勇佑

異例づくめでスタートした令和二年度。新入生・保護者・教職員のみでの入学式、新型コロナウイルス感染防止による緊急事態宣言、二か月間の休校。例年になくことをいくつも経験し、スタートが大幅に遅れた年度となりました。

学校生活は六月に再会され本格的なスタートとなりました。穂高祭ウォークラリーや地域学習、穂高祭代替行事などを経験するたび、クラスのコミュニケーション力が増していききました。PTAの前期号に童謡作家の金子みずさんの「みんなちがって、みんないい」の言葉のように、互いを認め合える集団に少しずつ



つながっているように感じています。個々には、学習や部活動、学校行事などを一生懸命に取り組んでいます。担任として感謝しています。

ます。

四月からは学年が上がり、クラス活動だけではなく、生徒会活動や進路活動などでも先輩の立場になります。後輩を導き、そして進路実現へと具体的な努力ができる二年生になることを期待しています。

未来を見据える三年生へ

二学年主任 武田 幸大

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な教育活動が直前で変更を余儀なくされました。しかし、その都度一つ一つ丁寧に向き合い、対応した経験から大きく力を伸ばした一年となりました。中でも見学旅行の取り組みは、平和学習、グループ別研修、感染症対策と多くのことに取り組んだ最高の五日間になりました。保護者の皆様のご理解に支えられ実現した

行事で現した。本当にありがとうございます。四月からは穂高校の最



令和2年度PTA事業

(令和2年10月～令和3年3月)

11月20日 見学旅行保護者説明会 (2学年)

3月1日 PTAだより発行

3月 第2回PTA役員会
(書面にて実施予定)

編集 PTA 研修委員

委員長	西村 真由美
副委員長	真壁 羽 純
委員	齋藤 園 美

高学年として、進路活動と学校のリーダーを両立しなければなりません。自分の進路や高校の今後を模索する中で、苦悩することもあると思います。その時にお子様に寄り添い、成長の場に行けるよう学年団で支援をしていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。